

福岡県立大学主催・田川市共催 国際学術シンポジウム

認知症の方とその家族への地域支援

— 看護と福祉の連携を考える —

開催日時・場所

2017.4.28 (金)

12:50~14:30(受付 12:20~)

福岡県立大学 講堂

超高齢社会の中で、認知症の方とその家族への地域支援と
そのための専門職連携は、国際的な共通の課題です。

このたびは、ドイツ・アーヘンにありますNRWカトリック大学副学長リアーネ・バイリッヒ教授をお招きして「効果的なケースマネジメントについて」講演をいただくことになりました。

続いて、認知症家族支援のため如何に看護と福祉が連携していくかについて本学の教員から発題し、さらに田川市における認知症家族支援の課題について田川市地域包括支援センター長から発題し、今後の本学の課題、また田川市の課題を関係者、市民とともに共有していく機会としたいと存じます。

参加費

無料

(どなたでも参加できます)

問合せ先

福岡県立大学国際学術シンポジウム実行委員会

福岡県立大学

福岡県田川市伊田 4395 番地

TEL : 0947-42-2118 (代表) FAX : 0947-42-1491

実行委員長 細井 勇 hosoi@fukuoka-pu.ac.jp

事務局 畑 香理 k-hata@fukuoka-pu.ac.jp

主催：福岡県立大学

共催：田川市

パネラー紹介・講演テーマ

<p>リアーネ・バイリッチ 教授 (ノルトライン・ヴェストファーレン州カトリック大学 副学長) 「認知症の方とその家族支援のための効果的なケースマネジメントについて」</p> 	<p>本郷 秀和 教授 (福岡県立大学人間社会学部) 「認知症の方とその家族への地域支援における看護と福祉の連携—福祉の立場から—」</p> 
<p>山口 のり子 センター長 (田川市地域包括支援センター) 「認知症の方とその家族への地域支援 —田川市の課題—」</p> 	<p>櫛 直美 准教授 (福岡県立大学看護学部) 「認知症の方とその家族への地域支援における看護と福祉の連携—看護の立場から—」</p> 

(通訳) 三原 博光教授 (県立広島大学)、リア・ベアクス (田川市国際交流員)

交通アクセス

JRを利用する場合

◆ 博多方面から ◆

博多駅→新飯塚駅→田川後藤寺駅→田川伊田駅 (約1時間30分) 徒歩約15分

◆ 小倉方面から ◆

小倉駅→田川伊田駅 (約1時間) 徒歩約15分

バスを利用する場合

◆ 博多方面から ◆

天神バスセンター →福岡県立大学 (約1時間20分) 徒歩3分

◆ 小倉方面から ◆

小倉駅バスセンター →東町バス停で下車 (約1時間) 徒歩15分



お申込み

◆お申し込みは、以下の内容をFAXまたはメールにて送信してください。FAX:0947-42-1491 国際学術シンポジウム実行委員会行。申込み締切は4月27日(木)17時です。当日参加可能です。

ふりがな		
氏名	所 属	
住 所	〒	
連絡先	☎	✉